

きたがた 議会だより

No.145
平成24年2月1日



消防出初式

contents

暴力団排除条例制定	2
議会改革推進委員会報告	4
一般質問	6
議会報告会の意見・要望	10
議会活動報告	12

平成 24 年 3 月施行

暴力団排除条例制定

平成 23 年
臨時会
第 6 回
第 7 回
定例会

平成 23 年第 7 回議会定例会が 12 月 19 日から 22 日までの 4 日間の会期で開催されました。

この本会議では、町長提出の条例、補正予算 4 議案が原案どおり可決しました。また、議員提出の意見書の可決と 5 議員による一般質問が行われました。11 月 29 日には第 6 回議会臨時会が開催され、町長提出の条例など 3 議案が原案のとおり可決しました。

暴力団を恐れない、資金を提供しない、利用しない

社会全体として、暴力団が町民の生活及び社会経済活動に不当な影響を与える存在であることを認識した上で「恐れない、資金を提供しない、利用しない」ことを基本として、町民等による連携及び協力の下に推進されなければなりません。

(町の責務)

・町民等の協力を得るとともに、県公安委員会等の連携及び協力を図りながら、暴力団の排除に関する施策を総合的に推進する。

(町民等の責務)

・暴力団の排除のための活動に自主的に取り組むよう努める。

・事業者は、暴力団を利用することとならないようにする。

・町民等は、暴力団員と社会的に非難されるべき関係を持つことがないよう努める。

・町民等は、暴力団の排除に資すると認められる情報を知ったときは、町へ提供するよう努める。

職員の給与に関する条例等の一部改正

給料月額の変定等を行いました。

町道 3 号線道路改良工事

(グリーン通り) の請負契約締結

指名競争入札により 6,090 万

円で(株)堀部工務店と契約するものです。

伊藤経雄議員に口頭注意

昨年 12 月 22 日に議会改革推進委員会を開催し、伊藤議員について協議しました。

伊藤議員は、議会議員政治倫理要綱第 10 条(請負等に関する遵守事項)の 2 項 3 項による「町に対する請負辞退届」の手続きを、再三の要請にも従わず、辞退届が提出されなかった。このため議会会議規則第 97 条により議長から「口頭注意」の処分することを決めました。

住民基本台帳法改正に伴うシステム改修 各種予防接種の助成を増やす

○一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,412万円を追加し、53億2,537万円としました。

主な歳出補正

・ 住民情報電算処理委託料（外国人住民基本台帳適用）	276万円
・ 障害者自立支援給付（介護給付）	1,126万円
・ 日本脳炎予防接種委託料（一人当たり助成 7,088円）	212万円
・ 子宮頸がん予防接種委託料（一人当たり助成 16,000円）	640万円
・ 肺炎球菌予防接種委託料（一人当たり助成 10,500円）	157万円

主な財源

・ 国庫支出金	574万円
・ 県支出金	1,101万円
・ 繰越金	320万円
・ 諸収入	416万円

療養給付費・高額療養費が増加

○国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億9,418万円を追加し、22億1,632万円としました。

主な歳出補正

・ 一般、退職被保険者療養給付費負担金	1億5,120万円
・ 一般、退職被保険者高額療養費負担金	4,250万円

主な財源

・ 国庫支出金	5,446万円
・ 療養給付費等交付金	3,369万円
・ 基金繰入金	5,492万円
・ 繰越金	4,997万円

○後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ91万円を追加し、1億4,663万円としました。

歳出補正

・ 住民情報移動データ作成委託料	29万円
・ 後期高齢者医療広域連合負担金	62万円

財源

・ 繰入金	91万円
-------	------

議会改革推進委員会報告

第7回議会定例会で、議会改革推進委員長から議会改革推進に関する事務調査の経過報告がありました。

10月5日、11月10日及び11月29日に開催されました概要は次のとおりです。

○ 10月5日

①議会基本条例に関する研修、検討

一般選挙を経た任期開始後に研修、検討を行うこととなっているので、議会基本条例の内容を協議、確認した。また、議会議員政治倫理要綱も協議し、特に第3条（政治倫理基準）の7「町が補助や助成している団体の長に就任しないこと。」や第10条（請負等に関する遵守事項）について確認した。

②議会報告会について

議会報告会の開催日は、11月19日（土）午後7時30分、働く婦人の家・北方町公民館・勤労青少年ホームの3会場にて同時開催で行うことを確認した。

③平成24年度の重要事案の審議

執行部に要請することにした。

○ 11月10日

①議会報告会の実施

開催要項、役割分担を決め、報告会に配布する資料と説明事項について確認した。

○ 11月29日

①議会報告会の質問事項

3会場で開催した議会報告会の質問事項を取りまとめた。また、内容については議会だよりに掲載することを確認した。



○陳情

「国民健康保険に対する国庫負担金の引き上げを求める意見書」採択を求める陳情については、保険制度の中身を見極めなど調査するため、継続審査としました。

○請願

子供の医療費無料化の拡大を求める請願書については、財政的な裏付けが必要であるので更に調査等を要するため、継続審査としました。

請願・陳情を継続して
審査することを決める

第7回議会定例会で、厚生都市常任委員長から請願・陳情に関する委員会付託の経過報告がありました。

環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）への日本政府の交渉参加について、慎重な対応を求める意見書（抜粋）

「TPP に関する意見書」は全員賛成にて可決し、内閣総理大臣に提出しました。

TPP は、国民的議論になりつつあるが、その内容については部分的にしか報道されていない。地方自治体の住民にどのように大きな影響を与えるかについては、ほとんど知られていない。

TPP に交渉参加すれば、大部分の輸入関税が 0 % となり、特に日本農業は大打撃を受けることになるので、農民・農家への影響は深刻なものとなるばかりか、地域社会の崩壊になることが、既に懸念されている。また、医療分野では特に国民皆保険制度が崩されて、米国並みに民間保険でしか対応できなくなる可能性が高いばかりか、混合診療が全面的に解禁される恐れが大きい。

よって、国においては、国内の環境整備と農業対策を早急に進めるとともに、関係国との協議及び TPP への参加を検討するに当たっては慎重に対応し、拙速な参加を避け、広く国民の声を聞いた上で、慎重に対応することを求めるものである。

第 6 回議会臨時会 議案の審議結果（○…賛成 ×…反対）

審 議 案 件	杉本	安藤(哲)	安藤(蔵)	鈴木	安藤(浩)	伊藤	立川	戸部議長	井野	日比
職員の給与に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	×	○	—	○	×
議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
工事請負契約の締結 (町道 3 号線道路改良工事)	○	×	×	○	○	×	○	—	○	×

第 7 回議会定例会 議案の審議結果（○…賛成 ×…反対）

審 議 案 件	杉本	安藤(哲)	安藤(蔵)	鈴木	安藤(浩)	伊藤	立川	戸部議長	井野	日比
暴力団排除条例制定	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
平成 23 年度一般会計補正予算(第 4 号)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
平成 23 年度国民健康保険特別会計補正予算(第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
平成 23 年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）への日本政府の交渉参加について、慎重な対応を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○

議員にとって「一般質問」は、公の場である議会で、
町長の考えや町政をただす大きな「武器」です。

5人の議員が町政を問う

島有料橋の無料化に伴う 交通安全対策は万全か



安藤浩孝議員

問 島有料橋の無料化により都市計画道路や町道の交通量に変化が生じてくる。町当局の認識と対策は。

答 都市環境農政課長

島大橋の無料化により島大橋の交通量が増大することとは確実で、北方町内の都市計画道路については、交通の流れが大きく変わることで想定されます。

万が一、道路構造上の危険箇所が確認された場合には、歩行者等も含めた通行の安全を確保するため、緊急対策を講じます。

問 警察庁では、幅3メートル未満の歩道について自転車の走行を原則禁止

する方向で検討に入ったが、北方町内の「自転車通行可」の道路はあるのか。

答 都市環境農政課長

北方町内で「自転車通行可」の県管理道路については、国道157号と主要地方道では岐阜関ヶ原線・北方多度線・岐阜県南大野線の4路線が指定されています。町管理道路については、

都市計画道路の高屋芝原線・高屋加茂線・運動場加茂線・地下前測之上線・猿五条上起線と町道191号線の6路線が指定されています。

問 歩道における自転車の安全確保と今後の歩道のバリアフリー化のあり方は。

答 都市環境農政課長

既存の歩道幅員は全て3メートル未満で、沿道状況から拡張することは非常に困難であると思われます。



自転車通行可の歩道

で、今後の歩道のバリアフリー化については、既存の幅員内で整備を進めていきます。また、町道3号線の整備を平成28年度までの予定で実施しますが、来年度以降の施工については、今年度の実施状況を見て、見直す所は見直し、より安全な歩道のバリアフリー化を実施していきます。

問 環境に優しく、エネルギーの分散化、スマートシティづくりのひとつスマートエネルギーネットについて。

答 総務課長

経費削減効果と安全面や安定的な電力供給面から慎重に検討した結果、契約電力50キロワット以上の9施設において、新年度から独立系電力会社（PPS）からの電力購入を進めていきます。

問 再生可能エネルギーの地産地消計画を住民とともに策定する考えは。

答 総務課長

再生可能エネルギーに関連する事業の中には「ファンドビジネス」にあたるものもあり、町との協働事業として相応しいものかどうか判断が難しく、慎重に調査研究を進める必要があると考えています。

答 総務課長

既存施設については、事業費が膨らむことが想定されることや補助制度が活用できないことなどを考えると、設置は考えられない状況です。今後、新たに計画する施設や建て替え施設については検討したいと考えています。

④北方中学校・北方南小学校での太陽光発電の稼働状況は。

答 教育課長

太陽光発電の設置年度は、南小学校が平成12年度、中

学校が平成14年度で共に30KWの電池パネルを設置しています。

稼働実績は、南小学校の平成22年度の発電量は3万8,029KW(91万2,696円)、売電量は2,220KW(5万3,280円)、中学校の直近データは、発電量は3万160KW、売電量は855KWです。

問 歴史的なつながりが深い高知県宿毛市と災害協定を含む幅広い交流を目指す考えは。

答 町長

最近の災害は大型化傾向にあるため遠距離であることが条件となりますが、歴史的には同胞であっても、交通事情等を考えると、何故、宿毛市かとの議論を深めなければならぬと思います。

また、役場や一部地域リーダーの理解だけでなく、住民の共鳴に支えられた交流を基本とし、非常事態には、いち早く駆けつけて支援ができるような友好関係を築く交流にしたいと思っています。

定住奨励金交付事業は 北方町に必要か



安藤哲雄議員

問 新築住宅の件数は、平成22年は79件、本年は95件ほどで、特に増加した様

でなく、定住奨励金交付事業の実施は費用対効果の面からみてどう考えるか。これからの9年間で3億円近い税金を使うなら、医療費無料化を中学生卒業までに実施する事にした方が町民が真に望んでいる事ではないのか？

答 税務課長

定住奨励金交付事業は、平成23年3月定例議会において、議会のご賛同をいただき「北方町新築住宅の定住奨励金交付条例」を制定し、実施するものです。

北方町に住みたいと考える住民の新築住宅の取得を応援し、定住人口の増加を図ることにより、中長期的には定住奨励金として投資する2億8,000万円を上回る税収が見込まれ、基幹税としての固定資産税の安定的な収入と住民税の増加により、財政基盤の安定と充実に資すると考えています。



町道3号線北部地区

問 町道3号線(グリーン通り)の工事を北部地区から優先する理由は。比較的整備されている北部よりも森町から地下・一本松にかけて優先するのが良いと思うが、どう考えるか。

答 都市環境農政課長

北部地区から優先して工事を進める理由として、町道3号線の北部地区は、町内の都市計画道路の中で一番初めに整備(昭和50年代)された道路であること、また、整備後30年以上経過し側溝等も老朽化していることからです。

女性の視点からの 防災対策の取り組みは



杉本真由美議員

問1 防災対策に女性の意見をしっかりと反映するために、どのように取り組まれているか。

答 総務課長

東日本大震災を受けて、今後、町の防災計画の見直しを行います。

その際、専門委員を設置し、ここに女性委員を登用して女性の視点から地域防災計画全般にわたって調査、提言を行っていただき、施策の基本となる地域防災計画を

より実効性のあるものとする
ことができると考えています。

問2 避難所の運営に女性または女性職員を配置されているか。

答 総務課長

北方町においては、大規模災害が発生したことを想定し、5つのエリアに分けて地区緊急災害避難連絡所を設けています。

第1エリアの働く婦人家には22名の職員の内女性10名、第2エリアの北方中学校は26名の職員の内女性19名、第3エリアの西小学校は24名の内女性14名、第4エリアの総合体育館は20名内女性7名、第5エリアの勤労青少年ホームには28名内女性15名を配置しています。

問3 避難所運営訓練（※HUG等）を取り入れ、地域と連携した防災訓練を実施すべきでは。

※H…避難所
U…運営
G…ゲーム

答 総務課長

避難所運営訓練（HUG等）は大変有用なものだと思います。

防災訓練の内容は、毎年見直しを行い、実情に即したものをと考えていますので、今後、調査研究を重ね、防災教育の普及に役立てていきます。

問 肺炎球菌ワクチンを接種することにより肺炎球菌による肺炎の重症化を防ぎ、予防することができま

答 福祉健康課長

多くの子どもに小児用肺炎球菌ワクチンを接種すると、子どもの予防だけでなく高齢者の予防にも効果があるとされており、当町では今年度から5歳未満の子どもの接種助成を開始しています。当面は乳幼児の接種率を高める努力をしていきたいと考えています。

町の施設に太陽光発電の設置を



日比玲子議員

問 安心して生きていくためには原子力発電を廃炉にして、再生可能エネルギー政策へ転換することが求められている。

町の施設に太陽光発電を設置する考えは。

答 総務課長

再生可能エネルギーについては、平野部である北方町には、太陽光発電が有用であると思いますので、今後、新たに計画する施設等については、検討したいと考えています。

問 気象災害時の児童生徒の安全確保を図られているか。

多治見市の児童死亡事故、給食を食べさせてから帰ることによる対応の遅れなど、

学校の対応は。

答 教育長

小学生の死亡事故は誠に痛ましく残念な出来事であり、当町では、県教育委員会が示しました「学校における災害の基本方針」を踏まえ、平成24年1月には教育委員会と校長会の合同会議を開催し、北方町の地域性に則した対応マニュアルを策定し、一層、児童生徒の安全確保に努めていきます。

問 給食センターの改修（建て替え）について、今後どうするの

答 教育長

給食調理場は昭和54年に完成し、今日では建屋の耐震性・設備の老朽化・環境整備等の問題が生じており、改築か新築かを含めた検討が必要な時期にきています。今後、議員の皆様と協議し、検討していきたいと考えています。



加茂子ども遊園

問 町営テニスコート・加茂子ども遊園は今後どうするのか、方針を聞く。

答 教育長

教育委員会の基本的な考えとして、現在のテニスコートは規格外であるため、正規のコートを整備したいと考えています。そのため、隣接している給食調理場・加茂子ども遊園を含めた土地の一体的な整備を図る必要があります。

問 子育て新システムについて、町の対応は。

答 福祉健康課長

今後の合併に対する考えは

「子ども・子育て新システム」の一番の目玉が保育園と幼稚園の一体化で、待機児童を解消しどの子にも公平に教育と保育を提供することを目標としております。

具体的に明らかにされていない部分が多く、不明瞭な段階であり、今後の国の動向・内容を見定めることが肝要で、明らかにした時点で協議していきます。

問 未満児保育の充実のため未満児室の増設を。

答 福祉健康課長

来年度予算で南保育園に未満児室を一部屋増築することを考えています。

また、新年度入所希望の少ない北保育園では、3歳の年少児と4歳の年中児を一緒にした混合保育を行い、空いた一部屋に2歳児を受け入れ、未満児の待機児童の解消を図ることとしています。

今後も未満児の入所希望の推移を見定めながら検討していきます。



伊藤経雄議員

問 「財政的な兵糧攻め」で小さな町では立ち行かなくなると、明言されていましたが、今後の合併に対する考えを聞く。

答 町長

現在の財政状況としては、平成14年の国の三位一体改革で減額されていた交付税等が、民主党政策の地方主権で平成22年度では11億124万8,000円(平成12年度交付相当額)が交付されています。

平成22年度決算額で注視する点は、扶助費(民生費)が5年前の約2倍の8億7,400万円になつていますが、予算総額は、5年前と同じくらしいの51億円で、町民税の税収は

減少傾向であることです。

経済状況の回復が望めない中、今後の道州制等合併問題の事態に備え、財政的基盤を整えていきたいと考えています。

問 「教育こそが人間を創り、将来を担う我が町北方町を拓く柱である」そんな思いで、各学校での相手に与える苦痛行為等教育現場の現状を聞く。

答 教育長

子どもたちは日々の生活の中で、友達の事、勉強の事、部活の事、進路の事など様々な思い、悩み、痛みを胸の内に持ち登校し生活しています。

子どもたちに悲しい思いをさせないためにも「いじめ」を防ぎ、互いに尊重し合う人間関係づくり・温かな学級づくりを進めることが最も大切であり、意識して学校現場・教職員の指導に当たっています。



県営北方住宅解体工事

問 長谷川団地の取り壊しの問題。

何回も繰り返す事前の説明不足。既存道路の確保、北方町の考え、意向を踏まえての計画等を聞く。

答 副町長

県営北方住宅の解体工事について、平成23年10月28日県による解体説明会が開催されましたが、開催に至るまでの手続きの不備や説明不足があったことは確かです、県にはその旨を申し入れておきました。

解体工事は2月20日までとなっていますが、工事の安全を確保した上で一日で

も早い工事の完了と敷地内道路の早期通行開始等を県に対し強く要望していきます。

問 町道3号線の工事について、提案あり結果ありでは町民の方々には理解が得られない。説明不足ではないか。

景観重視なのか、バリアフリー重視なのか、今後の工事計画は。

答 町長

都市環境の快適さ、整備された町にこそ人は住むと思います。町道3号線は、北方町の南北の主要交通網を確保するメイン的な役割をする道路で、町づくりの一環として整備を行います。都市環境の快適さの第1として実用性と安全性、第2は美観性、第3に自然環境、第4に地域性(北方町らしさ)、第5に精神性(故郷を感じる)ということを目指し進めていきたいと思っています。

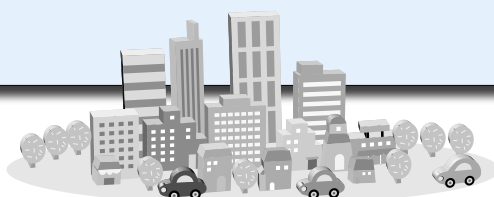
住民と議会の対話 2年目を迎えた議会報告会



＝ 勤労青少年ホーム 会場 ＝

議会改革の一環として、また町議会の役割として、議員が常に住民との対話に努め、住民の悩みと声を聞き、議論を重ね、調査・研究を進めていくことで、北方町の住民福祉の向上と地域社会の活力ある発展を目指していきます。

昨年11月19日、3会場（働く婦人の家・北方町公民館・勤労青少年ホーム）に35人の出席をいただき、開催した議会報告会の意見・要望を要約して掲載しました。



主な意見・要望の内容（要約）

県営住宅跡地利用計画関係

- ・生涯学習センターきらり駐車場は狭いので駐車場を拡張するとよい。
- ・町立図書館に本を寄贈したいが、保管場所や書庫がないとのことで受け入れてもらえないので、跡地の場所に図書館の書庫または資料室を考えて欲しい。
- ・震災時の避難場所になるとよい。
- ・土地の購入は、駐車場として検討されたのか、先を見据えてほしい。
- ・使い道がないような土地は購入する必要はない。生涯学習センターの土地は県借地であるので、これを有効活用として購入することはよい。
- ・跡地利用は議会で協議されたのか、今後議論されたい。
- ・10年先の北方町、長期展望を議会で協議してもらい。高屋西部土地区画整理事業は10年計画であるので連携はできないか。
- ・公園としての方向付けはよいが、周辺住民の利用だけになる。広い土地であるので町外者等が利用できる公園を県に整備してもらいたい。公園整備は町全体のバランスで考えてほしい。

道路整備事業（町道3号線等）関係

- ・車道、歩道は広がるのか、歩道に自転車を通ることができるのか。
- ・高齢者や子ども達が安心安全に登下校できる道路にして欲しい。
- ・道路の景観より安心安全を重視したものにして欲しい。
- ・自転車は軽車両なので車道を通るべき。（参考図面を見て）
- ・旧名鉄電車の高架橋取り壊しで、歩道の整備を十分考えてほしい。
- ・歩道には視覚障害者への配慮は。歩道に表示を設置されますか。
- ・自転車の利用、通りやすいよう考えては。これからは自転車利用が増えます。段差、ラインなどバランスよくしてほしい。
- ・ガードレール・路側帯は、安全面を考えて必要ではないか。特に交差点は十分に考えてほしい。



その他

- ・100年ぐらい経過して重要文化財になりそうな旧美濃北方駅を残してほしい。
- ・これからの北方町は、少子高齢化で福祉にお金がかかるが、単独行政でやっていけるのか。
- ・「議会だより」に毎回子どもの医療費の件があるが、町長の発言は一向に変わらない。議会としての意見を聞きたい。
- ・町は定住化を考えて固定資産税の政策を行うが、子どもの医療費無料化をしないことは、「若者にいてもらいたくない」と感じる。
- ・議会基本条例は今機能していますか。見直しはありますか。
- ・バスターミナルが設置されたが利用者は増えましたか？利用状況を教えてほしい。
- ・町政に望む声で、ここ数年は乳幼児医療費の無料化の要望が出ていますが、町民は理解していない？小学生になると引っ越しする方が毎年いる。町と議会の協議でどのような対応をされたか、今後の見通しを聞かせてほしい。子育てに関する事業、情報を町民に周知しては。北方町の福祉が一番遅れていると聞いた。
- ・報告会の分散開催はよいが、日にちを分けて全員の議員が出席できないか。

議会活動報告



議員視察研修

視察受け入れ交流を図る

平成23年に5市町村が「議会基本条例、議会改革の取組、教育事業」などの視察研修に訪れ、交流を深めました。

4月14日 瑞穂市議会
6月4日 大野町議会
7月22日 羽島市議会
11月10日 石川県中能登町議会
11月25日 大分県日出町議会

議会の動き

10月

5日・議会改革推進委員会
11日・議会だより
14日・県町村議会議長会
24日・全員協議会
26日・県町村議会議長会
・もとす広域連合議会
(第1日)

11月

1日・本巣消防事務
7日・もとす広域連合議会
10日・石川県中能登町議会
16日・議会改革推進委員会
19日・議会報告会
25日・大分県日出町議会
28日・西濃環境
29日・議会運営委員会
・全員協議会

12月

1日・もとす広域連合議会
6日・県町村議会議長会
12日・議会運営委員会
14日・厚生都市常任委員会
15日・総務教育常任委員会
19日・第7回議会定例会
20日・厚生都市常任委員会
21日・総務教育常任委員会
22日・第7回議会定例会
・議会改革推進委員会
・第6回議会臨時会
・議会改革推進委員会
・議会運営委員会
・議会だより
編集委員会

議会を傍聴しませんか

次の定例会は3月です

傍聴の手続きは、議会事務局で住所と氏名を記入するだけです。関心のある方は、お気軽にお越しください。

編集後記

町議会議員選挙後、初の12月定例会が4日間開かれました。

条例1件、一般会計補正予算など3件が審議可決されました。

請願など3件のうち、それぞれの委員会に付託され、1件は採択、2件は継続審査となりました。

それに先立つ11月19日議会基本条例に基づき今回は同日同時刻3会場でタイトルを決めて臨みました。

3会場で35名の住民の方の参加を得、貴重な意見が寄せられました。その後、意見をまとめましたので皆さんにお知らせしました。

定例会毎に発行となります「議会だより」は町民の皆さんに分かりやすく読んでいただきたいという願いで編集しています。

是非ご意見等をお寄せください。お待ちしております。

議会だより編集委員
日比玲子